

表紙のことば
シリーズ 市民群像



スケート教育

日本中で、日光ほど市民のスケート人口が多いところはないだろう。市民皆スケーターの目標に向けて、積み重ねてきた努力のたまものである。特に小学校から体育の授業に、スケートを取りいれているので、将来は百パーセント近いスケーターのまちになる。一月中旬のある日、市内小学校のスケート授業が行なわれていた。先生も生徒も、氷の上をグラウンドのように滑りまくる。やがてこの中から何人かの名選手が生れることだろう。その層の厚さは、たしかに特筆に価する。市内中学校氷上体育大会の日も近い。豆スケーター達よ、ガンバレ。(清滝小の児童たちの練習、スケートセンターで)

どんど焼き

成人式が行われた一月十五日、大谷川左岸河川敷では、御幸町児童会による「どんど焼き」と「たこあげ大会」が行われました。正



月の飾り物をピラミット型に組み、火をつけると、どんど焼きが最高潮に達します。最近では「どんど焼き」も各地で行われるようになり、昔の風物詩の復活が感じられます。

くらしの豆知識

＝ワイシャツ＝

◆素材◆

●綿100%-----吸湿性、通気性に富み、肌合いが良いが、家庭で洗うと仕上げがたいへん。織糸の太さは、番手で表わされ、数字が40・60・80・100・120と大きくなるにつれて、糸が細くなる。実用向きは60番～80番。

●ポリエステル・綿の混紡-----丈夫で洗たくが簡単、乾きが早い利点(W&W性)があり、普及している。夏用には、綿の代わりに麻を混紡したものがある。

●絹100%-----礼装用

◆サイズ◆

衿面り36～42cmに対して、それぞれ、ゆき74cmから2cm刻みで82cmまでの寸法がある。

買う時は、首回りの実寸に1.5cm加えたものを衿回りとし、ゆきは背広の袖口から1.5cmくらい、ワイシャツの袖口をのぞかせるようにすると、美しく見える。体型には、レギュラー(標準)、スリム(細身)、キングサイズ(肥満)などがある。

◆W&WとP.P加工◆

W&Wのワイシャツは、絞らずに干すが、絞った時の小ジワを残すと取れにくい。

W&Wをさらに改良したP.P加工(パーマネントプレス加工)は、途中まで樹脂加工した生地を縫製した後、高熱処理で全体の形をセットし、最初のプレス状態を保つもの。ノーアイロン、縫い目に生ずるひきつれが生じないなど、洗たく方法が容易。

善意銀行



十二月中の日光善意銀行預託者は次の方々です。(敬称略)
 ◆心身障害児父母の会に ▼小林芳樹(匠町)一万円 ◆下野三楽園に ▼竹沢啓三(下鉢石)千円
 ◆身体障害者に ▼匿名(松原町)二千元 ▼親和会孔版社有志(清滝二)七千元 ▼佐藤任男(和泉)三千四百六十四円 ▼鶴島アヤ(安川町)オシメ二十枚 ◆身体障害児に ▼小平喜久(中宮祠)五千元 ◆老人福祉に ▼田口吉重

香典返し廃止による寄付

(上鉢石)三千二百円 ▼柴田牧人(御幸町)五千元 ▼鶴島俊一郎(安川町)千円 ▼宇都宮短大附属高校日光支部学友会(代表鈴木晃一)五千六百元 ◆要援護者に ▼金田為次郎(中宮祠)千円
 ▼知野カツ(稻荷三)二千元 ◆交通遺児に ▼匿名 五千元 ◆児童福祉に ▼ママさんコーラスグループ一同 二万円 ◆保育所に ▼須賀ハル(稻荷二)雑布四十五枚
 ◆心身障害児父母の会に ▼沼尾健治(七里)十万円 ◆社会福祉協議会に ▼大貫武(相生町)十万円